



『 健診受診の必要性について 』

鹿児島県では脳卒中で亡くなる方が全国平均の約 1.5 倍と言われており、その原因は高血圧や糖尿病などの生活習慣病から起こることが知られています。

でも、「私はそんなに太っていないから生活習慣病ではないわ」と思っておられる方も多いのではないのでしょうか。当施設に健診に来られる方を 20 年前と比較してみますと、肥満の方の割合は男性ではわずか 10% の増加にとどまり、女性では逆に減っているのですが、糖尿病と診断された方の割合は約 2 倍に増加し、また脂肪肝と診断された方の割合も約 3 倍に増加しています。日本人は、余ったエネルギーを皮下脂肪として蓄えることが苦手らしく、内臓脂肪がたまりやすいため、太っていなくても生活習慣病になる人種と言われています。

このような生活習慣病の早期発見のため、健診を受けて頂き、皆さんに元気で長生きしていただきたいと思います。



鹿児島厚生連病院 副院長
(健康管理センター統括部長)
宮原 広典